



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

捨印

平成28年1月19日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ おかやましきょうやまちくいーえすでいすいしんきょうぎかい

団体名 岡山市京山地区ESD共

所在地

連絡先

フリガナ いけだ みつゆき

代表者氏名 池田満之

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。 ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	「やさしく走ろう京山」運動の推進
事業実施区域(小学校区)	伊島小学校区、津島小学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 2回目 (平成27年度から)
課題	「自転車マナー問題」の解決は岡山市京山地区の課題です。2015年2月に開催しました第10回京山地区ESDフェスティバル「地域の絆プロジェクト」の中で多数意見として「自転車マナー問題」に取り組む必要性が提出されました。その論議を受けて、地域の絆プロジェクト企画委員会では「やさしく走ろう京山」運動を広げることとし、「自転車マナー問題」の解決を目指します。昨年度スタートした運動を継続的に続けていきます。
事業の目的・目標	私たちの生活が安全・安心であることは最も大切なことの一つです。京山地区ESD協議会ではESDの視点から見た京山地区の特徴を取りあげて検討し努力しています。その中で、上記目的欄に記したとおり京山地区の地域課題ランキングの第1位に「交通関係」(自転車のマナーが悪い等)があげられています。すなわち、2015年2月の第10回京山地区ESDフェスティバル「地域の絆プロジェクト」の中で「自転車マナー問題」に取り組む必要性が強く指摘され決して無視できないものがありました。そのことを受けて「地域の絆プロジェクト」の中で、長い時間をかけて現状と対策を話し合いました。この運動は自転車マナーのことは全国的問題かもしれません。しかし、まず解決できる地域がコアとなって始めるべきだと思えます。京山地域はその決意を固めています。昨年度から始めたこの運動は継続してこそ価値のある運動です。

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学区内にある高等学校、京山中学校、伊島・津島小学校へ「地域の願い」を届けるとともに「やさしく走ろう京山」運動の担い手を生徒・児童に広げていく。 ・地域の絆プロジェクトだよりを発行し、「やさしく走ろう京山」運動の啓発を促す。この運動を新聞・テレビなど地域のマスコミにアピールしていく。 ・企画委員会、第12回京山地区E S D フェスティバル「地域の絆プロジェクト」などで論議を深め、運動を広げていく。 ・伊島・津島学区の交通安全対策協議会、交通安全母の会、安全安心ネットワーク、老人クラブなどとの連携を深め、交通安全週間、公民館の文化祭、地域の各種行事にて取り組みを行っていく。
期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「やさしく走ろう京山」を広げることによって、歩行者、自転車通行者、車両、誰もが安心して通行できる地域になることが期待されます。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布は今年度作成予定分を合わせると約1,700枚になります。このプレートが地域関係者の自転車に付けられることによって、地域の人びとの意識はますます向上し、自転車問題についての関心も高まっていくことが期待されます。京山地区ひいては岡山市の地域課題の解決が大きく進むことも期待されます。 ・成果の確認は、京山地区E S D フェスティバルなどで、アンケートや話し合いにて地域の方々に直接聞いて行います。
企画などの工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」を制作し、各種会合で運動を推進していく地域の住民、児童、生徒、学生に配布する。 ・保育園、幼稚園、小学校の保護者への働きかけを強め、通園、通学が安全にできる学区をめざす担い手になるように運動を広げます。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布にとどまらず、「地域の絆プロジェクトだより」「E S D カフェ」「フェスティバルでの地域の絆プロジェクト」等を通して、京山地区E S D 協議会が掲げる【目指す地域像】に向けてさまざまな活動を企画・工夫をします。
事業の情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の絆プロジェクトだより」を地域の全戸に配布し、広報活動を行います。 ・京山地区E S D 推進協議会や京山地区地域安全パトロール隊などの参加団体に広く呼びかけます。 ・学区内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学との交流を深め、この運動を広めて行きます。
次年度以降の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業は継続して行う必要があることは明らかです。次年度に渡って啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布、「地域の絆プロジェクトだより」の発行を引き続き続けていきます。 ・各種学校との交流を深め、運動を広げていきます。 ・協賛を企業にまで広げ、協賛金を増やし、運動を広めていきます
その他PRしたい点	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車のマナー問題を話し合っていくなかで、参加者の意識はどんどん向上していき、あらゆる角度から安全面についても話が及ぶようになりました。そこで本年度は、京山地区の自転車通行危険箇所、用水路問題などを京山地区E S D フェスティバルで話し合い、マップを作成していく方向に展開しています。また昨年、啓発プレートと合わせて作成したのぼりが大きな効果があったので、次年度ものぼりを作成し、その危険箇所に設置することにより地域の皆さんに意識していただき危険を回避する有効な手段にしていきたいと考えています。

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	280,000	70,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	40,000	40,000	
参加者負担金	0		
協賛金	60,000	20,000	交通対策協議会・企業など
寄付、他収入		10,000	
計	380,000	140,000	

◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	320,544	120,000	啓発プレートおよび のぼりの作成
印刷費	50,000	20,000	地域の絆だより・「やさしく走ろう 京山」運動ちらし印刷代
通信費	2,000		企画委員会案内状郵送切手代
会議費	7,456		各学校との懇談費用
計	380,000	140,000	

◆ 概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。

専業スケジュール 随時、プレート配布

月日	活動内容
4月	京山地区ESD推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 交通安全週間
5月	京山地区ESD推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 伊島小学校、津島小学校 自転車教室、プレート配布 京山中学校生徒との懇談
6月	京山地区ESD推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会 「地域の絆プロジェクトだより」配布
7月	京山地区ESD推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 地域内高等学校生徒との懇談
8月	京山地区ESD推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会
9月	京山地区ESD推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会 交通安全週間 「地域の絆プロジェクトだより」配布
10月	京山地区ESD推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会
11月	京山地区ESD推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山中学校生徒との懇談
12月	京山地区ESD推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会（総括会議、次年度企画会議） 「地域の絆プロジェクトだより」配布
1月	京山地区ESD推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 京山地区ESDフェスティバル
2月	京山地区ESD推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会
3月	京山地区ESD推進協議会地域の絆プロジェクト企画委員会 「やさしく走ろう京山運動」企画委員会（総括会議、監査） 「地域の絆プロジェクトだより」配布